【参考資料02】　　ＢＣＰ策定の前提とするリスク

中核事業が影響を受けると思われる緊急事態（リスク）は何を想定しておくか。

滋賀県内にある自社の立地条件、地域的要素、事業内容等から、どんなことが起きたら経営が脅かされるかをまず考えておきましょう。自然災害を想定する場合は、滋賀県や各市町で被害想定を出しているので、そちらを参考にしてください。（次頁参照）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 自然災害・事件事故  （リスク項目例） | 災害発生推定  災害ﾚﾍﾞﾙ(例) | 予測  発生頻度 | 災害強度  損害大きさ | 影響度  重要度 | **BCP**  **考慮？** |
| 大地震 | 震動、建物倒壊  M6強以上で損壊 |  |  |  |  |
| 台風、竜巻 | 風災害、建物倒壊  風速50m以上×5H |  |  |  |  |
| 集中豪雨・豪雪、洪水、  土砂災害 | 浸水、土石流水害、財産被害  100mm/h×3H以上  雨量警報発令 |  |  |  |  |
| 原子力発電事故、  防災速報 | 30km圏内防災速報発令  180日平均の10倍以上の  放射線量 |  |  |  |  |
| 爆発・落雷火災、類焼 | 爆発可燃物、製品材料焼失、  建物ﾌﾟﾗﾝﾄ、設備焼失 |  |  |  |  |
| 感染症 | 新型インフルエンザ社会的大流行、社員欠勤、ﾊﾟﾝﾃﾞﾐｯｸ警報 |  |  |  |  |
| IT/コンピュータ情報、  ＩＴテロ | 情報流出、ウイルス攻撃  システムダウン |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

○頻度と強度の予測評価（突然性・突発性）の判断（５段階の例）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 発生頻度（予測） | | リスク損害の大きさ、強度 | |
| ５ | 確実に発生する　　　　確率極大/常時？ | ５ | 巨大被害、大損害、事業継続不可能 |
| ４ | 発生可能性あり　　　　確率大/週、月1回程度？ | ４ | 甚大被害、経営活動継続に損害発生 |
| ３ | いつかは発生　　　　　確率中/1年に数回程度？ | ３ | 活動継続に中程度の損害発生 |
| ２ | ほとんど発生しない　　確率小/5年１回程度？ | ２ | 内部処理可能程度の損害発生 |
| １ | 特別以外は発生ない　確率極小/10年以上？ | １ | 損害軽微、経営活動に支障発生しない |

**（発生頻度）×（損害の大きさ・強度）＝重要度・影響度の判断**

|  |  |
| --- | --- |
| **BCP考慮？** | **○：考慮必須　　　　　　　△：できれば考慮したい　　　　　　　×：考慮不要** |

* 被害想定の検討に役立つ情報

１．「滋賀県土木防災情報システム　どこが危険か」

<http://shiga-bousai.jp/link/kiken.html>

洪水想定区域図、土木災害警戒区域、土砂災害危険箇所、滋賀県防災情報マップ、国土交通省ハザードマップポータルサイトへのリンクがあり、様々な災害による危険箇所が確認できます。

２．「滋賀県防災ポータル」

<http://www.pref.shiga.lg.jp/bousai/index.html>

地震、風水害などの災害情報や、医療情報、交通情報、道路情報、ライフラインなど災害時に役立つサイトへのリンクがまとめてあります。  
 リンク先の滋賀県防災情報マップでは、地域で予測される様々な災害の危険性を地図上から確認できます。